

(様式1)

(一社)岩手県社会福祉士会 役員立候補届

私は、(一社)岩手県社会福祉士会役員選出規則に基づき、2023年度改選の役員に立候補しますので、3名の推薦書を添えて届け出ます。

立候補の 役員区分	(どちらかに○をつけて下さい) ①.ブロック選出理事 2.全県選出理事	立候補者の 所属ブロック	沿岸ブロック
(ふりがな) 氏 名	(たかやしき だいすけ) 高屋敷 大助	年齢 (立候補時点)	会員番号
自宅住所 連絡先			
勤務先名	社会福祉法人若竹会		
勤務先の 職名・職務	障害児入所施設らいず 所長		
主な活動歴 (社会福祉士会での活動を含む) ・岩手県社会福祉士会沿岸ブロック (2007～) ・宮古圏域障害者自立支援協議会 事務局員 (2010～2021)			
立候補理由・抱負・本会において取り組みたい事項 これまで、岩手県社会福祉士会沿岸ブロックに所属し活動に携わってきました。今後も多様化、複雑化する地域課題に対応できるよう、沿岸ブロックの会員と学び合い、社会福祉士が地域の中で果たすべき役割等について企画・運営を担い、実践力の底上げに貢献したく立候補しました。			
推薦者氏名 (所属ブロック名)	1. 加藤伸二 (沿岸ブロック)	2. 鷺田敦子 (沿岸ブロック)	3. 久坂義臣 (沿岸ブロック)

選管收受印



上記のとおり、立候補を届け出ます。

2023年4月3日

氏 名(自署)

高屋敷 大助

【注】立候補受付の締切日は4月3日(月)です。(消印有効)

※ ご記入情報は、本会の役員候補者選出に伴うことに使用し、目的外の使用はいたしません。

(様式 2)

(一社)岩手県社会福祉士会 役員立候補者推薦書

私は、(一社)岩手県社会福祉士会役員選出規則に基づき、2023年度改選の役員立候補者を推薦します。

推薦する立候補者の氏名	高屋敷 大助	立候補する役員区分	(どちらかに○をつけて下さい) 1. ☒ ブロック選出理事 2. ☐ 全県選出理事
-------------	--------	-----------	---

推薦理由

高屋敷会員は、平成16年10月に社会福祉法人若竹会に入職し、障害者支援施設「わかたけ学園」の生活支援員として配属されました。自閉症者の自立支援ホーム「虹の家」での経験を活かし即戦力としてその手腕を大いに発揮しています。平成22年4月からは、NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)に席を置き、相談支援専門員として宮古・下閉伊地域に暮らす障がい者の福祉の向上に努めるとともに、地域の社会資源の開発・改善にも注力しました。令和4年4月1日、新設された障害児・者一体型施設「新たな郷わかたけ」(子ども部門・らいず)の所長に就任し現在に至ります。

高屋敷会員の発達障がいのある人たちを対象とした「構造化プログラム」「家族支援」「理解促進・啓発事業」の実践は目を見張るものがあり、その力量は多くの関係者から高く評価されています。また、各方面から講師依頼を受けることが多く、社会福祉士の社会的評価・認知度の向上にも大いに貢献しています。

以上のことから、高屋敷会員は今後も様々な実践を通して更なる成長・活躍が期待できる人材ですので、ここに当会の理事として自信を持って推薦いたします。

上記のとおり、推薦いたします。

2023年 3 月 27 日

選管收受印


自宅住所	
所属ブロック	沿岸ブロック
会員番号	
氏名 (自署)	加藤 伸二

【注】推薦者は、この推薦書を立候補者へ早めに提出してください。

立候補者は、この推薦書を3人から受け取り、必ず立候補届に添付して届け出てください。

(様式2)

(一社)岩手県社会福祉士会 役員立候補者推薦書

私は、(一社)岩手県社会福祉士会役員選出規則に基づき、2023年度改選の役員立候補者を推薦します。

推薦する立候補者の氏名	高屋敷 大助	立候補する役員区分	(どちらかに○をつけて下さい) ①.ブロック選出理事 2. 全県選出理事
-------------	--------	-----------	---

推薦理由

高屋敷大助会員は、社会福祉法人若竹会に入職以降、「わかたけ学園」の生活支援員、NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット「レインボーネット」の相談支援専門員に配属され、現在は当法人で新たに新設された障害児・者一体型施設「新たな郷わかたけ」、子ども部門・らいずの所長に就任しています。

当法人に入職以前は、社会福祉法人フレンドシップいわて 障害者支援施設「虹の家」に在職し、自閉スペクトラム症、強度行動障害の方への対応に取り組まれ、その実践や経験を当法人内、地域の障がいのある方への支援、外部講師等で発揮されています。また、日々、自己研鑽に努められており、資格取得をはじめ、様々な知識、技術を持ち合わせており、障がい児・者の支援の実践に加え、部下の育成についてもご尽力されています。高屋敷会員は、私達、後輩職員が目指すべき職員像であり、これから社会福祉士を目指す方にとっても見本となる方であると思います。

以上のことから、高屋敷会員のこれまでの実践を活かすことができ、活躍が期待できる人材であることは確実です。ここに岩手県社会福祉士会の理事として推薦いたします。

上記のとおり、推薦いたします。

2023年3月31日



自宅住所	
所属ブロック	沿岸ブロック
会員番号	
氏名 (自署)	鷗田 敦子

【注】推薦者は、この推薦書を立候補者へ早めに提出してください。

立候補者は、この推薦書を3人から受け取り、必ず立候補届に添付して届け出てください。

(様式 2)

(一社)岩手県社会福祉士会 役員立候補者推薦書

私は、(一社)岩手県社会福祉士会役員選出規則に基づき、2023年度改選の役員立候補者を推薦します。

推薦する立候補者の氏名	高屋敷 大助	立候補する役員区分	(どちらかに○をつけて下さい) ①.ブロック選出理事 2. 全県選出理事
-------------	--------	-----------	---

推薦理由

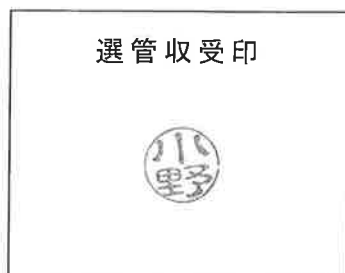
高屋敷氏とは私が現在の社会福祉法人若竹会に入職した際、障がい者入所施設での生活支援員の先輩、後輩という関係ではありましたが、当時から発達障がいの方、それを支える家族への支援に熱心に取り組まれていました。また、積極的に自己研鑽によるスキルアップを図る事で、福祉サービスの質の向上、後進育成等、組織のより良い変化をもたらしてきました。平成22年には、NPO法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット(レインボーネット)に席をおき、相談支援専門員として、宮古圏域の障がい者福祉の向上と社会資源の開発等にも注力されております。事務局次長という役職にも就き、組織マネジメント能力も十分に発揮されております。現在は、新設された障がい児・者一体型施設「新たな郷わかたけ」(子ども部門・らいず)の所長に就任し現在に至ります。

高屋敷氏は、これまでの経歴を活かしたミクロ、メゾ、マクロの視点での福祉実践を行っており、専門職としての力量は非常に高いものと考えます。実際に福祉実践の力量については関係者の多くから高い評価を得ており、各方面からの講師依頼も多く、社会福祉としての社会的評価の向上にも大いに貢献されています。

今後も様々な経験や実践により、社会福祉士としての成長と活躍が期待できる人材であることは確実であり、専門職としての目指すべき姿を体現出来る存在であることから、当会のブロック選出理事として推薦致します。

上記のとおり、推薦いたします。

2023年 3月 31日



自宅住所	
所属ブロック	沿岸ブロック
会員番号	
氏名 (自署)	久坂 義臣

【注】 推薦者は、この推薦書を立候補者へ早めに提出してください。

立候補者は、この推薦書を3人から受け取り、必ず立候補届に添付して届け出てください。